

平成27年度末、北海道新幹線が開業すると、今別町に本州最北端の新駅「奥津軽いまべつ駅」が誕生します。昨年12月には、北海道新幹線の試験車両が新駅に入線し、いよいよ開業が目前となりました。

この開業を機に、多くの方に地域の数々の魅力に触れてほしいと願い、現在、景観の活用や料理メニューの開発など、観光客の受入れに向けて地域全体が盛り上がっています。

津軽半島には国内最古・最長の森林鉄道である「津軽森林鉄道」跡が潜在しており、この「津軽森林鉄道」の歴史と魅力をPRするため、パネル展示などの企画展や遺構巡りツアー、シンポジウムを展開。県内外からたくさんの方が参加し、「こんな素晴らしいものが眠っていたとは」「規模に圧倒された」「今後も残し、活用していきたいほしい」などの感想をいただき、



北海道新幹線試験車両の奥津軽いまべつ駅への初入線

文化的・歴史的价值を広く伝えることができたと実感しています。

また、地元のおいしい食材を地元で提供するため、飲食店への食アドバ イザー派遣や試作料理の試食アンケートの実施など、食の磨き上げに力を注いでいます。この取組によって、今別町の郷土料理「あづべ汁」は、焼き魚や山菜などの料理と組み合わせ「あづべ汁定食」として生まれ変わり、地域の飲食店での提供が始まりました。

さらに、開業対策連絡協議会では、開業の効果を最大限に獲得するため、地域の魅力を生かした具体の取組について、東青地域の市町村や商工・観光団体等が一致団結して検討を進めているところ です。



提供：JR北海道

地域が主役の

おもてなし

地域の宝を再発掘し 新たな切り口で売り出す

【東青地域／北海道新幹線「奥津軽いまべつ駅」開業に向けた戦略展開事業】



地域が一丸となって、地元の魅力を存分に味わってもらえる新たな価値を創り出します。

【上北地域／カメラ女子による上北魅力発信事業】

女性目線の写真が

地域にとつての活力に



私たちが暮らす上北地域は、和田湖、奥入瀬渓流などの自然資源や歴史、風土、食などの文化資源に恵まれた県内屈指の観光地域。しかし、東日本大震災以降、観光入込客数の落ち込みが続き、現在、徐々に回復しているものの震災前の水準には戻っていないのが現実です。

そんな中、ターゲットを絞った効果的な誘客が急務だと感じていた私たちが、一番に注目したのは、最近、旅行業界でも特に力を入れていく「女子旅」。年代別・性別で、最も高い宿泊旅行実施率を誇る20～30代の女性のニーズをしっかりと取り込むこと。そして、小型軽量の一眼レフが普及したことで、旅先の風景やグルメ写真をブログなどに積極的に発信するカメラが趣味の「カメラ女子」が増えていることから、観光資源の魅力を彼女たちならではの視点で引き出し、写真撮影してもらったものを多くの方へ発信してもらえたら、最終的に誘客につながるのではないかと考え、「カメラ女子による上北魅力発信事業」を開始させました。

さっそく、カメラ女子による上北地域の観光資源や撮影スポットの検討会を開催。その後、カメラ女子に人気の写真家を招き、指導を受けながらの撮影会を実施しました。彼女たちが思い通りに撮影した観光資源や撮影スポットの写真は、HPやブログ、SNSなどにアップし、全国に向けて情報発信しています。

また、上北地域を縦断する青い森鉄道の車両内に、彼女たちが撮影した写真を展示する「カメラ女子による『動く写真展』」も開催。鉄道を利用する旅行者や沿線住民に向け、上北地域の魅力をこれまでと違った新鮮な形でPRすることができました。

今後も、季節ごとの撮影会を続けていく予定。そして、写真展の開催はもちろん、ポストカードや女性向けパンフレットの作成・配布など、さまざまな形の情報発信に取り組んでいきます。



カメラ女子による上北地域撮影会

全国のカメラ女子が訪れたい企画、そして、女性主導の観光客増加を目指したい。